

林 義孝(編)

「DVD で学ぶ運動器疾患の
理学療法テクニック
—臨床的感性をみがく動画 106」

鶴見隆正

神奈川県立保健福祉大学

骨関節系疾患の理学療法アプローチ過程と治療テクニックを自学自習できる実践書が出版された。それを端的に表しているのが本書の帯に記された「プロの理学療法をテキスト・動画・ナレーションで徹底理解」の文言であり、本書の内容を知りたいという衝動に駆り立てられた。

臨床現場では、効果的な理学療法が求められており、いかに治療テクニックを適応するかがポイントとなるが、卒前教育では各疾患に対する基本的な講義、実技指導にとどまっているのが現状である。それゆえに臨床の最前線に立った際の理学療法士のとまどいは大きく、視聴覚機能を有した治療テクニック中心の書籍の出版が待ち望まれていた。それだけに今回の DVD 付の本書の出版は実にタイムリーであると言える。

本書は2部構成からなり、第1部「実践理学療法の前に」では患者の情報収集から理学療法過程における留意点を、第2部「疾患別実践理学療法」では上肢骨折、下肢骨折、変形性関節症、関節リウマチ、血管原性下肢切断、半月板損傷などの外傷、腰部疾患、頸椎

症性脊髄症など治療頻度の高い骨関節疾患を取り上げ、第一線で活躍されているエキスパートの治療テクニックを前面に打ち出している。具体的には、疾患ごとに処方箋サンプルを例示し、標準的なクリティカルパスから一連の理学療法過程を確認でき、さらに評価から治療テクニックについては、図表を多用した解説によってわかりやすい構成となっている。また随所に設けてあるノート欄とメモ欄では、治療テクニックのコツや留意すべき点を簡潔に説明するなど、臨床的なまとめ方が本書の特徴となっており、編者の臨床センスと患者本位の理学療法を第一とする姿勢が伝わってくる。

本書のもう1つの特徴は、第2部の全疾患の実践理学療法の実際を収録したDVDがついており、繰り返し動画で確認できることである。プロの治療テクニックの動画を見ながらの声かけのタイミングとナレーションは大変参考になり、しかも文章では表現しにくい理学療法のアートの部分を理解しやすいところがDVDの強みでもある。またDVDには代表的な手術も収録されており、術式のポイント、理学療法上留意すべき点がナレーションで解説されている。

このように本書は、最先端の実践的な理学療法テクニックを習得するために臨床現場の理学療法士はもちろんのこと、理学療法士を目指す学生にとっても大いに役立つ1冊であり、お勧めしたい。

●B5判 252頁(2色刷)

定価 6,825円(本体 6,500円+税 5%)

2008年 南江堂・刊